事例No.	1908
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	兵庫県

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・人材確保・育成

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

県立病院と民間病院の再編

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【兵庫県】
県立病院と民間病院の再編

広域化等 **病院事業**

兵庫県病院局企画課

● 取組の概要

県立の専門病院である姫路循環器病センターと民間の総合病院である製鉄記念広畑病院を統合再編し、県内の県立病院で最大の病床数となる「兵庫県立はりま姫路総合医療センター」を開設した。

◆総事業費 423億円

◆背景

- 姫路循環器病センターは、診療科が限られており、合併症対応が不十分、広畑病院は、ほぼ全ての診療科を標榜していたが、循環器疾患の医療が不十分であった。
- 県内で最も医師が不足している地域であり、医師確保のため、優秀な人材が定着するよう、若手医師の働き場所として魅力ある医療機関を整備する必要があった。
- 圏域の救急機能が非効率であったことから、重症以上の救急受入照会回数4回以上の割合が極めて高いほか、重症例の一定割合が圏域外へ流出していた。

◆具体的内容

- 両病院の機能を継承・発展させた高度専門・急性期医療の提供。
  (高性能画像検診断装置を備えたハイブリッド手術室、最新鋭の医療機器等の導入)
- 総合的な診療機能を活かした幅広い疾患に対応する救急医療の提供。
  (ハイブリッドERを有する救命救急センター設置、ドクターヘリ準基地機能の継承)
- 先進医療への貢献を含めた質の高い診療・教育・研究の実施。
- 地域医療ネットワークの中心的な病院として公立病院、民間病院等と連携。

◆効果

- 播磨姫路圏域の中核的な医療機関として地域医療の充実に寄与。

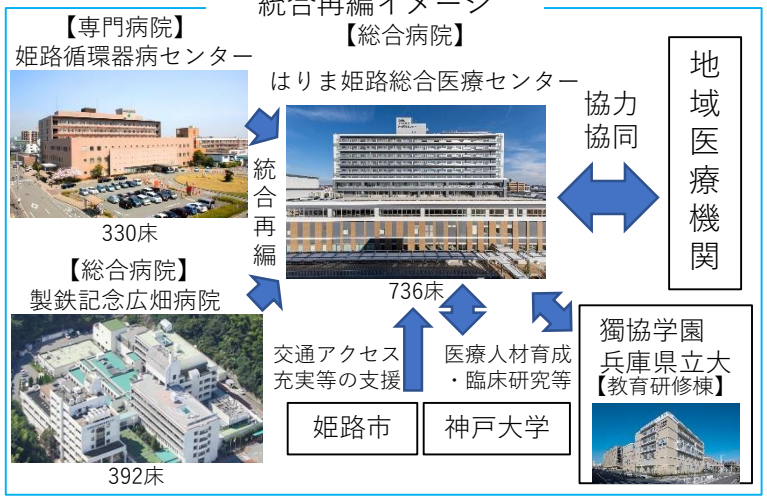
● 取組のポイント

- 統合再編に向けた機能の分担及び業務の連携を早期に推進するため、両病院を参加法人とする地域医療連携推進法人を設立（平成29年4月：全国初）。
- 姫路市のJR姫路駅周辺開発事業と連携し、地域交通の要であるJR姫路駅から新病院を歩行者デッキでつなぐなど、交通アクセスを充実。
- 播磨姫路圏域の医療人材育成の拠点を目指して、若手医師の研修環境の充実に加えて、病院棟に隣接して整備した教育研修棟において、兵庫県立大学、獨協学園や神戸大学とも連携して、臨床研究や新しい医療機器の開発を実施。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　804,957人　（令和4年11月時点）
- 行政区域内面積　2,432km^2（令和4年7月時点）
- 許可病床　736床（令和4年5月開院時点）

統合再編イメージ



● 取組のスケジュール

- 平成28年9月　両病院で統合再編基本協定を締結
- 平成29年2月　基本計画策定
- 令和元年9月　工事着工。
- 令和4年5月　開院

● 今後の展望

- 救命救急センター機能を十分に発揮するには、地域医療機関との役割分担が必要。そのため、地域医療機関や市消防局との連携を深め、効果・効率的な医療提供体制の構築を目指す。
- 医療人材の育成に積極的に取り組み、地域の医師確保に貢献する。